



よつばの手紙

特集 座談会 新成人 「わたしたちの世代トーク」



目次

- ・ 特集
座談会新成人「わたし
たちの世代トーク」
- ・ 知ってデートDV
- ・ 相談窓口の案内
行ってきました
- ・ 市内企業レポート
- ・ さんかく図書室
- ・ 現場の芽
- ・ 地域の目
- ・ おうめの散歩道
- ・ 人のわ

市役所市民広場にて

座談会 新成人「わたしたちの世代トーク」

市では「青梅市男女平等推進計画」にもとづき、男女平等参画社会の実現を目指し、施策を総合的かつ計画的に推進しております。

「男女平等」と一言と言っても、考え方はその年齢や立場、環境といったさまざまな理由で変わります。今回は、1月に成人式を迎えた新成人の5人にお集まりいただき、彼らの「男女平等」について質問し考え方をうかがいました。

家庭と仕事の両立は

これから社会に出て、いずれは結婚も考えていると思います。家庭と仕事の両立はできると思いますか。また、両立したいと思いますか。

嶋田 私が在籍している看護学校には、幅広い年齢層の方々がいて、お子さんのいらっしゃる方は学校と家庭のことを両立されています。それを見ていると仕事においても同じように両立できるのではないかなと思います。

木崎 私の実家は自営業なので、母を見ていると家事と仕事を両立させていると感じます。また私自身は将来小学校の教員を目指していて、大変だろうというイメージはありますが、両立したいと思っています。

塚本 共働きの両親は、両立していると思います。母が土・日だけの勤務だった頃は、父が家事をしています。自分も家事が好きです。気持ちとしては、家のことはできるだけ手伝いたいと思います。

岩崎 現在看護師として復職した母は、とても忙しそうで、疲れすぎな



いかと身体の方が心配です。だから家事は疎かになりがちだと思います。自分自身も大学の研究を続けたいと思っているのですが、忙しくなったら両立はきびしいかなと考えています。

田中 僕は今のところ仕事中心にしたいと思っています。それを考えると、今すぐには両立は難しいのかなと思います。今はとても仕事をしたいと思っています。

得したこと、損したこと

学校、家庭、バイト先等で「男だから・女だから」という理由で得した、損した、と感じたことはありますか。

田中 職場（教育産業）での仕事内容に、男女差はなく、損も得もないと感じています。

塚本 僕は損したと感じたことはありませんね。

岩崎 理系に進んだことを、「理系女」のように女子だからという取り上げ方をすることには不満です。研究内容を見てほしいと思います。大学の施設については、特に気になることや不便に思うことはありません。

木崎 私は女子大に通っているのですが、男女で比べられることもなく、学生生活の中では特に損した、得したと感じることはありません。バイト先でも年少者ということで可愛がられて、得していると感じます。

嶋田 体育祭の男女混合種目の際、男子と女子でルールに差をつけることがあり、男子にとつては損と感じていることがあるのではないかと思っています。学校設備も女子中心なので、男子には不満があるんじゃないかなと思いますね。

どう思う男女平等

男女平等ということを、どのように思っているか聞かせてください。



きざきま いこ
木崎真以子さん



つかもと りき
塚本理樹さん



いわさき ゆみか
岩崎由美香さん



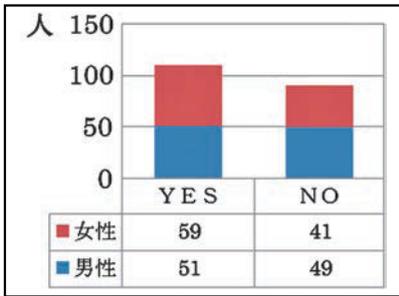
たなか ゆうや
田中佑弥さん



しまだ ありさ
嶋田有紗さん

新成人のみなさんに突撃アンケート!!

Q あなたのまわりでは「男女平等」だと思いますか。



成人式の会場（総合体育館）で、男女各100人に突撃アンケートを実施しました。

木崎 すべて一緒なのが平等だとは限らないので、どこで線引きをした方がいいのか難しく、分かりません。女性優先の場面が多くなっているとは思っています。

海外では、父親の育児が当たり前になされているのに、日本ではイクメン等として取り上げられていることはおかしいと感じています。

田中 男女が分かれているからこそ、平等と言えることもあるのではない

かと思っています。平等にしようとしているから、平等でない面が見えるのではないのでしょうか。

嶋田（病院実習を経験して）命の危機を目にした時は、性別は関係なくなります。元気で五体満足だからこそ、平等を求めているということとが分かりました。職業については、男女に差がなくなりつつあると思います。

岩崎 家庭生活においては男女平等にした方がいいという声をよく聞きますが、制度が追いついていないように感じます。

平等についての判断は分かりませんが、男だから・女だからを理由にしてほしくありません。

塚本 自分の身の回りでは、平等になっているとは感じません。また、そんなに急いで平等にする必要はあるのかなと思っています。

管理職のイメージ

管理職について、イメージを教えてください。将来、管理職になりたいと思いますか。

す。管理と調整に時間を取られて、自分のやりたいことができなくなるのではないかと想像します。

田中 僕は管理職になりたいと思います。本当は現場で働きたいと考えているのですが、やりたいことを実現するために管理職になることが必要だとすれば、管理職を目指したいと思います。将来は自分の塾を開きたいという希望もあるので、それを考えると必要なのかなと思います。

岩崎 私は現場にいたいと思います。管理職の母から会議や出張で時間を取られてしまうという話を聞いていたので、現場での仕事ができなくなるのではないかなと思っています。

嶋田 管理職（看護師長）になるには、さらに別の資格が必要ですから、今は考えられません。

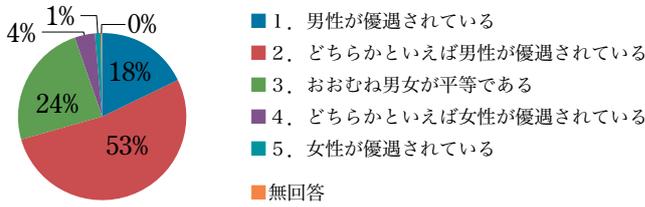
現場で患者さんと接し、笑顔にしたいという夢を持って看護師を目指しているの、管理職になりたいとは思いません。それよりも保育所や地域の施設で働く看護師になりたいと思っています。

木崎 まずは現場を見て、いろいろなことを知ってから管理職になることが必要かどうか考えたいと思います。専門職を専攻し、夢に向か

市民のくらし展アンケート結果

産業観光まつりにおいて、来場者453人にアンケートを実施しました。
(平成25年11月2日・3日)

Q 社会全体で男女が平等だと思いますか。



「デートDV」とは、交際相手から受ける暴力のことです。「殴る」「蹴る」などの身体的暴力だけでなく、言葉や態度による暴力など、相手を一方的に支配しコントロールするものです。高校生や大学生といった若い世代でも「デートDV」の被害が増えています。

今日は本当に、ありがとうございました。

フレッシュユナ5人の皆さんが、家族や友人を思い浮かべたり、自分自身の生活を振り返りながら、真摯に話していただきました。

って勉強しているんで、とにかく仕事に就きたいと考えています。



知ってデートDV

「デートDV」とは、交際相手から受ける暴力のことです。「殴る」「蹴る」などの身体的暴力だけでなく、言葉や態度による暴力など、相手を一方的に支配しコントロールするものです。高校生や大学生といった若い世代でも「デートDV」の被害が増えています。

DVの種類

身体的暴力 殴る、蹴る、怒る、物を壊す・投げつけるなど

精神的暴力 傷つくことを繰り返し言う、無視する、脅す、メールや持物をチェックするなど

経済的暴力 お金を出させる、お金を返さない、借金させるなど

性的暴力 キスやセックスなどを強要する、避妊に協力しないなど

DVの被害者は相手が怖くて、誰にも相談できずに孤立していき

ます。「もしかして」と思ったら、一人で悩まず、下記の相談窓口の案内「女性の相談」の各機関にご連絡ください。

ストーカー被害の相談は、直接警察署にご連絡ください。

相談窓口の案内

公的支援機関の相談窓口をご利用ください。

	相 談 先	内 容
女性の 相 談	東京ウィメンズプラザ TEL 03-5467-2455 毎日 9:00~21:00 (年末年始は休み)	女性の総合相談 ドメスティック・バイオレンス、夫婦・親子の問題、生き方や職場の人間関係など (就職活動の支援は行っておりません)
	東京都女性相談センター 多摩支所 TEL 042-522-4232 月~金曜日 9:00~16:00 (土・日曜日、祝日、年末年始は休み)	
	青梅市役所 TEL 0428-22-1111 月~金曜日 8:30~17:00 (土・日曜日、祝日、年末年始は休み)	
	青梅警察署 TEL 0428-22-0110 緊急の場合 110番通報	
女性の 就 職	マザーズハローワーク東京 TEL 03-3409-8609 月~金曜日 9:00~17:00 (土・日曜日、祝日は休み)	キャリアカウンセラーによる女性の就職活動全般の相談 キッズコーナーも併設
	ハローワーク立川 マザーズコーナー TEL 042-523-1509 月・木曜日 9:00~19:00、火・水・金曜日 9:00~17:00 第1・3土曜日 10:00~17:00 (第2・4・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休み)	
就 職	ハローワーク 青梅 TEL 0428-24-8609 月~金曜日 8:30~17:15 (土・日曜日、祝日、年末年始は休み)	職業相談 求職活動のサポート
男性のための悩み相談 東京ウィメンズプラザ TEL 03-3400-5313 月・水曜日 17:00~20:00 (祝日、年末年始は休み) 夫婦・子どもの問題、職場や地域の人間関係、セクハラや暴力の問題など男性の抱えるさまざまな悩みに男性相談専門の相談員が対応		

行ってきました

☆家庭福祉員☆



梅市の実施要綱に則っています。
青梅市の家庭福祉員制度では午前8時から午後5時まで子どもを預けることができ、保護者との相談により延長保育も可能です。

が)接していても、やっぱりママ、パパなんです」としながらも、常に両親に近い立場で子どもと接することを心がけており、叱る必要がある時にはしっかりと叱るそうです。

皆さんは家庭福祉員制度をご存じでしょうか。保育士などの資格をもち市が認定した家庭福祉員が、その自宅で保育する制度です。

対象となる子どもは、保護者の就労や疾病などにより保育を必要とする区市町村が認

めた0歳〜2歳までの児童ですが、制度の詳細は区市町村ごとに異なります。

青梅市では入所時点で43日以下2歳児を対象としており、3歳未満まで保育することが可能です。

今回は、市に登録のある5人の家庭福祉員のうち、新町にある島崎千春さん宅に行ってきました。

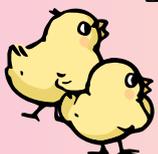
戸建て住宅の一階部分、二部屋を保育スペースとしています。現在、6か月と2歳の2人の子どもが通ってきます。保育スペースには遊具が豊富に揃っており、ヒーターや窓の前にはガードが設置されていました。保育スペースは、採光、換気等児童の保健衛生にふさわしいよう青

一日の過ごし方は家庭福祉員により多少異なるようですが、島崎さんの場合は子どもの受け入れまでに、自宅の家事や子どもたちの昼食の準備を済ませておくとのことでした。

8時から保育が始まり、遊具で遊ばせたり昼寝をさせたりしながら、ほとんど生活を共にし、保護者の帰りを待ちます。晴れた日の午前中には公園や連携保育所で子どもたちと遊んだり、他の家庭福祉員のお宅に伺い、子ども同士で交流することもあ

るそうです。
子どもたちと1日のうち長い時間を共にすることで、家庭福祉員が両親以上の存在になってしまわないかとの質問に、島崎さんは「どんなに(家庭福祉員

が)接していても、やっぱりママ、パパなんです」としながらも、常に両親に近い立場で子どもと接することを心がけており、叱る必要がある時にはしっかりと叱るそうです。
島崎さんは以前他市に住んでいましたが、家庭福祉員の仕事をしたいという思いがあり、家庭福祉員制度のある青梅市に引っ越しをしてきたそうです。子どもが小さいうちにはできる限り家庭的な環境で育ててあげたいという思いで家庭福祉員になったそうです。青梅市では、仮に家庭福祉員が体調を崩した場合にも連携保育所を通じて、両親も子どもも安心できる体制が整っています。



※保育園および家庭福祉員に関する問合せにつきましては、青梅市子育て推進課へ。

☎0428-22-1111



島崎さん宅の保育スペース

～エレクトロニクス加工技術の推を拓き、 テクノロジーの最先端領域を拓く～

サワダSTB株式会社の澤田均社長に自社で取り組まれている活動についてお話を伺いました。



サワダSTB株式会社
代表取締役 さわだ ひとし 澤田 均さん

◆事業内容

創業以来、半導体一筋50年、半導体（IC LSI）等の製造・加工・検査を主な業務として事業を行っております。半導体の進展とともに、扱う製品も様々に変わってきており、現在では半導体の素となるシリコンのみならず、ガラス、セラミックス、カーボン等あらゆる素材の加工に対応しています。当社は半導体ウエハを製造するメーカーとそれを組み立てるメーカーとのハードウェアとソフトウェアの重要なつなぎ役を担っています。

事業所は青梅市内に本社工場、ここでは主に研究開発を行っており、青森県には生産拠点としての工場を構えています。

◆会社での取り組み

特に技術系職種に限ってみるとハードウェア開発とソフトウェア開発にたずさわる社員に大別されます。以前は、男性主体の仕事でしたが、現在では性別に関係なく幅広く人材を登用しており、技術系の優秀な能力を持った女性が多くポジションを任せ活躍しています。一方、営業渉外面でも女性スタッフの活躍する場を積極的に設けています。

◆さらに技術を磨くために

社員には、さらに技術を高めってもらうために国内外の研修を頻繁に行っております。特に、海外との取引先（主に欧州）に社員を出向させて、現地でOJT（企業内で行われる企業内教育・教育訓練手法のひとつ）を行っており、実務と研修を兼ね備えながら、それが社員の良い刺激となっています。

そこで得た知識や情報が、社員一人ひとりのノウハウとして、会社の技術の向上に寄与できればと思っています。

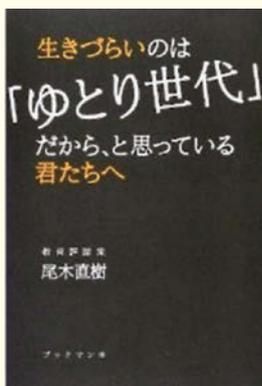
◆今後について

これからも男性、女性を問わずに平等にチャンスを与えて、企業全体の底上げをしていくとともに、新規の取引先や海外の需要も増やしていけるようにして、会社を成長させていきたいと思っています。

サワダSTB株式会社（二俣尾3丁目）
設立 昭和39年7月
従業員数 90人（男性45人／女性45人）
半導体（IC LSI）製造・加工・検査・テスト等
<http://www.sawada-stb.co.jp/>

生きづらいのは「ゆとり世代」
だから、と思っている君たちへ

尾木直樹 著
ブックマン社



さんかく図書室

尾木ママこと、教育評論家の尾木直樹さんの著書です。

「生きづらい」と感じることにについて20歳から36歳の方々が座談会を行い、彼らの感じている生きづらさの背景にある社会的、文化的な意味を著者が明らかにしていきます。

本書では、タイトルにもある「ゆとり世代」について「昭和60年から平成8年前後に生まれた子どもを指すと言われる」と紹介されています。著者はゆとり教育の掲げた生きるための力を育てる方針に賛成しています。しかし、絶対評価をされるべきところを相対評価にしてしまったことがゆとり教育を反転させてしまったとしており、国の場当たりの施策に憤りを感じています。著者と一緒に日本の教育について考えてみてはいかがでしょうか。

青梅市中央図書館で所蔵しています TEL 0428-22-6543

現場の芽



11月から12月にかけて全6回の日程で、「わたし」らしく！仕事も家庭も女子力UP講座が開催されました。この講座は、忙しい日々を追われている女性たちに、もう一度自分を見つめ直し、新しい一步を踏み出してもらいたいという思いから企画されました。

ワークショップやワークショップを通して自分自身を振り返り、家事力UPや、コミュニケーション技術を学ぶ講座など、さまざまな角度から「わたし」を見つめ、活かす講座となりました。会って間もない相手とも打ち解け、まるで旧知の仲のようにおしゃべりがはずむ参加者たちに、女子力というよりも人間力の強さを感じました。

また、講座の間は勉強するママを応援すべく、子どもたちを預かる託児事業も行われていました。最初は不安いっぱい涙を流していた子どもたちも、回を重ねるごとに泣かずにママを待てるようになったり、年長の子が年少の子におもちゃを譲ってあげたりと子どもたちなりに人間力を成長させる時間となっていました。大人も子どもも頑張る、そんな人間力UP講座とも言える充実した講座となりました。

地域の目



「みんなが笑顔で子どもたちを見守り、人が困った時には手を差し伸べてあげられるような、家族でそして地域で支え、自分を大切にし、安心してこの青梅に住み続けることができるといいですね」と話す、東青梅3丁目に住む、3月で75歳の志村洋治しむら ようじさん。『自分も地域の人に知ってもらえたらな』と定年退職してから、地域で何かできることはないかと、小中学生の登下校パトロールをボランティアで始めました。

「近所の子どもたちを知り、名前と顔を覚え、朝は遠くから大きな声で手を振って『おはよう』の中学生、夕方はハイタッチで『また明日、さようなら』の小学生。子どもたちから毎日パワーをもらっています。楽しくて止められません。風邪もひけないです」と冗談を交えて話してくださいました。

「志村さんの優しい笑顔に朝から癒されます。東青梅の朝になくはならない人のひとりです」と通勤中の方。これからも地元の人や子どもたちとの朝夕の時間を通し、地域を見守って欲しいと思います。

おつめの散歩道

青梅丘陵ハイキングコース

青梅線の北側を東西に延びる青梅丘陵は、全長約10キロメートルにわたってハイキングコースとなっており、東は青梅鉄道公園をスタートして、西は雷電山を越えて高水三山ハイキングコースへ接続しています。

「青梅丘陵ハイキングコース」は青梅駅〜軍畑駅まで歩くことができます。

所要時間は、片道2〜3時間程度。永山公園〜矢倉台は道幅がとても広く、子どもでも歩けます。夕方にはジョギングやウォーキングの人がたくさん通り、青梅市民に人気の散歩道です。市街地から歩いてほんの10分足らずの所で、豊かな自然を味わえます。季節によりいろいろな草木が見られます。

また、青梅丘陵ハイキングコース周辺には、歴史、スポーツ、文化、エンターテインメントと、実に豊かな資源があります。



シャガ（4月〜5月頃）

資料：青梅・永山マスターズホームページ
<http://ome-nagayama.com/>
♪ **オススメ散歩道を募集中**

あなたのおつめのおきの散歩道を教えてください。「よつばの手紙」で紹介します。



富士山ビューポイント

人のわ

ヤナガワファーム

柳川 貴嗣さん (33歳)
柳川 由佳さん (29歳) (千ヶ瀬町在住)



柳川さんご夫妻

大学時代に環境問題を学び、はじめは自分でどのように貢献できるのだろうか、と漠然とした気持ちがありました。有機野菜を育て、地元の人へおいしい野菜を口にしてもらうことで貢献出来ればという気持ちになり、青梅市で一人目となる新規就農者として2010年より農業をはじめました。

わたしたちの行っている有機農業とは、農薬や化学肥料を使って合理的に育てる慣行農業とは異なり、「土から生まれたモノは土に還る」という自然の循環に基づいて行う農業です。よく「野菜を育てるの大変でしょう」と聞かれますが、太陽の光りや水や温度、虫や微生物にも役割があり、それらの力を借りることでお

いしい野菜が成長するので育てていく上で大変だとか苦労しているか思ったりとはありません。環境を整えながら育てることでもおいしい野菜が採れるんですよ。

採れた野菜は東青梅や千ヶ瀬のスーパ



ブロッコリー
1年を通して収穫

ています。販売している野菜にわたしたちの名前を入れてるので、店頭に出る販売して

いるときにお客様から声をかけていただくことがあります。実際に食べてくれた人からおいしいと言ってもらえるときは本当に嬉しい気持ちになります。スーパーに並んでいる野菜はすべてつくつてみたいですよ。

わたしたちの畑で生産したのから地域の人のつながりがスタートしたので、これからも進めていきたいと思っています。

みなさんのご意見・

ご感想をお寄せください

「よつばの手紙」で取り上げたい内容がありましたら、お知らせください。

よつばの手紙 第10号

発行日 2014年3月
発行 青梅市企画部企画調整課
電話 0428-22-1111
内線 2423
編集 男女平等情報紙編集委員会
編集委員 福島恵美子 三輪 覚子
岩波 直樹 佐藤 裕子
川崎 茜

<編集後記>

- ❖家庭福祉員さんに甘えるKちゃんを見ていると、ご両親の姿が目には浮かびます。お子さんを預けて働くご両親にエール。(ふ)
- ❖特集は若者たちの笑いとパワーが一杯の、和やかな話し合いになりました。彼らから「元気をもらおう」ということを実感し、私も少し若返った気分です。(み)
- ❖若者の男女平等の捉え方や考え方にもいろいろと人それぞれで考えを持っていて、男女平等に対しての意識が高いことに驚かされました。仕事をしていくうえで、自分自身の夢も持っている記事を見て、自分も初心に戻ることも必要と感じました。(い)
- ❖先日45年ぶりの大雪。雪かきを通じて近所付き合いが深まり、そんなコミュニケーションもあるのだなあと思いました。(さ)
- ❖改めて男女平等とはなにかを編集委員で話あえました。(か)

